2015年7月10日

報道関係 各位

# ~配送車両、営業車両に啓発ステッカーを掲示~ 道路異常の情報共有と道路緊急ダイヤルの啓発活動へ

## 稚内開発建設部と協定を締結

北海道コカ・コーラボトリング株式会社(本社:札幌市清田区 代表取締役社長:佐々木 康行)と、 北海道開発局稚内開発建設部は 2015 年7月 15 日(水)、宗谷管内の国道における、道路異常の情報 共有及び道路緊急ダイヤルの啓発活動に関する協働事業の協定を締結致します。

この協定は、当社従業員が幹線道路の異常等を発見した際、迅速に通報を行うことに加え、当社稚内事業所の車両(約20台)を対象に道路緊急ダイヤルの啓発ステッカーを掲示することで、地域のみなさまからより多く幹線道路の異常等に関する情報が寄せられることを目的としております。また、稚内開発建設部から当社稚内事業所へは、通行規制等の情報提供を頂くことで、円滑な道路交通に活用致します。

このたび、本協定の締結式および、道路緊急ダイヤルの啓発ステッカーを掲示した車両の出発式を下記の通り実施しますのでお知らせいたします。



道路緊急ダイヤル啓発ステッカー

### 協定締結式 および 出発式 開催日程

日 時:2015年7月15日(水)午前10時より

場 所:北海道開発局 稚内開発建設部 部長室 (稚内市末広5丁目6-1 稚内地方合同庁舎)

※協定締結後、正面玄関前にて出発式を行います

出席者:北海道開発局 稚内開発建設部長 小松 正明 様

北海道コカ・コーラボトリング株式会社

営業統括本部 フルサービス営業四部長(地域連携担当) 福井 誠

当社は「〜北の大地とともに〜」をスローガンに、地域との協働事業を通じて、持続可能で安全・安心な社会の実現を目指しております。これからも、安全で安心な地域づくりを応援する取り組み、北海道の豊かな自然と水を守る取り組みなどを、道産子企業として継続的に推進してまいります。

#### 【参考1】北海道開発局と当社との協働事業実施経緯

2006 年 9 月、北海道開発局と当社は北海道の活力ある地域づくりを目指し、道路利用者への新たな情報提供の協働を試行する「協働事業に関する包括協定書」を締結しました。この協定に基づき、道の駅における北海道開発局、市町村、当社での三者連携による道路利用者への新たな情報提供手段として、当社の電光掲示板付き災害対応型自動販売機を活用した情報配信サービス「お知らせ道ねっと (※)」を展開してきました。2007 年 10 月には、この試行結果を踏まえ、競争力ある美しく個性的な北海道の実現に向けて、「協働事業の実施に関する基本協定書」へ更新しました。さらに、道路保全に関する新たな協働事業として、2014 年 8 月より、道路異常の情報共有及び道路緊急ダイヤルの啓発活動へ取り組む事と致しました。

(※当社の電光掲示板付き災害対応型自動販売機にて、地域情報や災害情報を配信するサービスで、 道の駅を中心に、2015 年 3 月末時点で約 120 台の自動販売機で展開されています。)

#### 【参考 2】 道路緊急ダイヤルとは

道路利用者が幹線道路の異常等を発見した場合に、直接道路管理者に緊急通報できるようにするとともに、それを受けた道路管理者は迅速に道路の異常への対応を図ることによって、安全を確保します。緊急通報は、道路の穴ぼこ、路肩の崩壊などの道路損傷、落下物や路面の汚れなど道路の異常を対象とします。 国土交通省ではこれを 24 時間受け付けており、電話番号は【#9910】で、通話料は無料です。



出典:北海道開発局ホームページ (http://www.hkd.mlit.go.jp/zigyoka/z\_doro/9910/)

#### 【参考 3】 当社の「道路異常の情報共有及び道路緊急ダイヤルの啓発活動」への取組み

2014年8月、「『道路異常の情報共有及び道路緊急ダイヤルの啓発活動』における協働事業の実施に関する細目協定書」を、北海道開発局帯広開発建設部と当社帯広事業所との間で締結しました。

その後、道内各地でも活動への気運が高まり、室蘭、網走、旭川、小樽、釧路の各開発建設部と同様の協定を締結しました。このたび、稚内開発建設部との協定締結によって道内7ヶ所目となります。道路緊急ダイヤルの啓発ステッカーを掲示した当社車両は合計420台となりました。



帯広開発建設部との協定締結(2014年8月)



小樽開発建設部との協定締結(2015年4月)



室蘭開発建設部との協定締結(2015年3月)



旭川開発建設部との協定締結(2015年4月)



網走開発建設部との協定締結(2015年3月)



釧路開発建設部との協定締結(2015年6月)